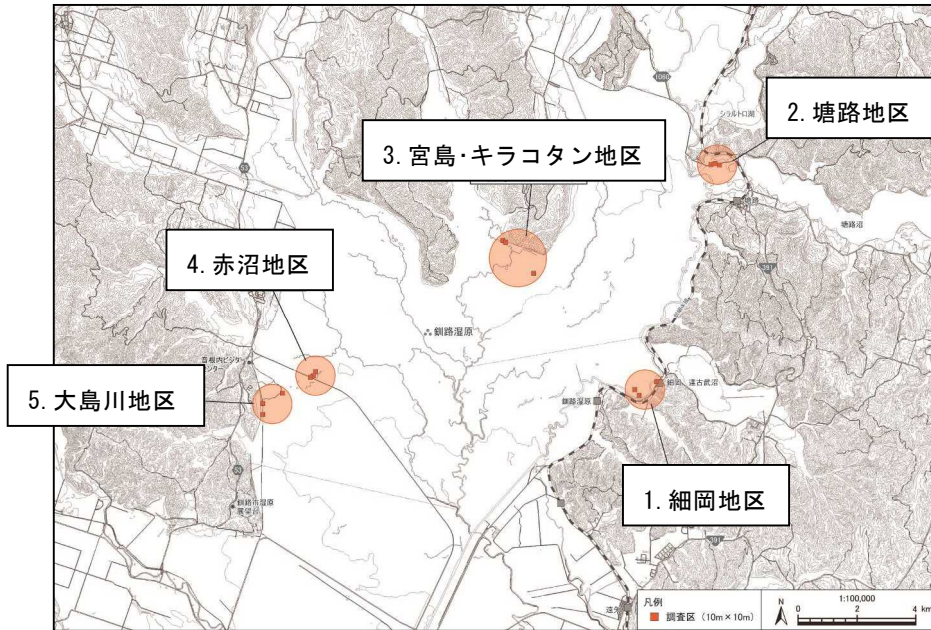


平成 26 年度エゾシカ採食状況調査 実施結果

以下の 5 地点において、夏期、秋期及び冬期の採食状況調査を実施。

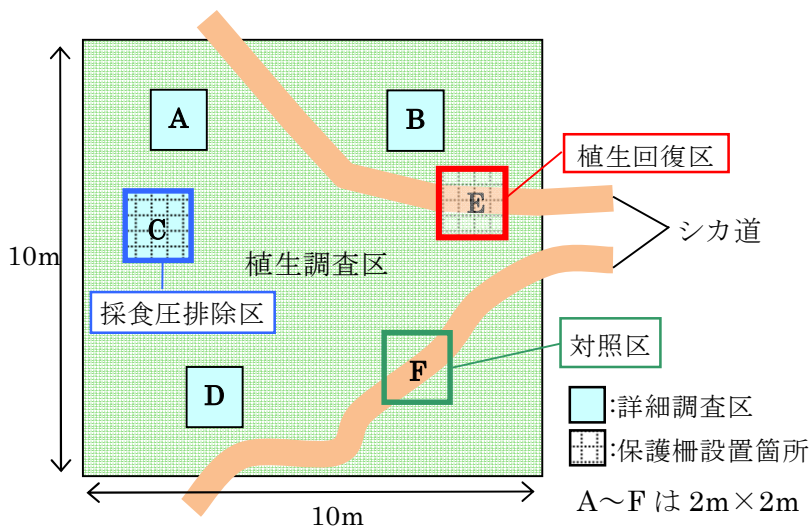


● 調査方法

□ 夏期及び秋期（夏期：10月9日～25日、秋期：11月18日～26日）

平成 25 年度に設定した各地区 3 カ所の植生調査区で採食状況を調査。

各植生調査区に 3 カ所の詳細調査区及び 1 カ所の採食圧排除区（保護柵）、並びにシカ道等への植生回復を調査する植生回復区（保護柵）及び対照区（保護柵なし）を設置。



更新した植生保護柵（焦茶色）

□ 冬期（2月5日～18日）

平成 23～25 年度と同様の場所でライントランセクト法による調査を実施。

（シカ道を踏査して片側 1m（両側 2m）の範囲の採食状況を記録）

●夏期の食痕出現頻度(食痕確認面積/100 m²)

採食種名	細岡			塘路			宮島・キラコタン			赤沼			大島川		
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	5-3
	ハン	高層	低層	低層	タモ	ハン	高層	低層	ハン	高層	高層	低層	低層	ハン	高層
ケヤマハンノキ														0.09	
ミゾソバ					1.22										
エゾノウワミズザクラ					0.01										
ナガボノシロワレモコウ															0.01
ホザキシモツケ									20.5					0.10	
クロミノウグイスカグラ												0.04			
サワギキョウ				0.02											
オオヨモギ					0.01							0.02			
ホロムイソウ		0.25													
イワノガリヤス														2.51	
ヌマドジョウツナギ			0.02												
クサヨシ			13.13		0.01										
ヨシ		0.02		0.01						0.31					
ムジナスゲ											1.00	0.01			
ツルスゲ								2.70						8.50	
キク科sp											0.01				
アヤメ科sp	0.01														
カヤツリグサ科sp									0.05						
計	0.01	0.27	13.15	0.03	1.25	0.00	0.00	2.70	20.55	0.31	1.01	0.07	0.00	11.20	0.01

重要種 : 食痕出現頻度が 10 m²以上の調査区

●秋期の食痕出現頻度(食痕確認面積/100 m²)

採食種名	細岡			塘路			宮島・キラコタン			赤沼			大島川		
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	5-1	5-2	5-3
	ハン	高層	低層	低層	タモ	ハン	高層	低層	ハン	高層	高層	低層	低層	ハン	高層
ヤチヤナギ	0.18	0.11													
ミゾソバ								2.04							
ホザキシモツケ														0.30	
カラフトイソツツジ											0.01				
ヌマドジョウツナギ			1.50												
クサヨシ			5.75												
ヨシ	0.04	1.00								0.01					
ツルスゲ								2.00						0.01	
オニナルコスゲ					0.25										
イネ科sp		0.50													
計	0.22	1.61	7.25	0.00	0.25	0.00	0.00	4.04	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.31	0.00

重要種 : 食痕出現頻度が 1 m²以上の調査区

●採食状況の経年比較(H25・26/夏期・秋期)

No.	科名	種名	草本	木本	H25		H26		合計
					夏期	秋期	夏期	秋期	
1	ヤマモモ	ヤチヤナギ		●		0.29		0.29	0.58
2	カバノキ	ケヤマハンノキ		●			0.09		0.09
3	タデ	アキノウナギツカミ	○		0.01				0.01
4		ミゾソバ	○		34.76		1.22	2.04	38.02
5	バラ	エゾノウワミズザクラ		●			0.01		0.01
6		ナガボノシロワレモコウ	○				0.01		0.01
7		ホザキシモツケ		●	8.79	1.75	20.60	0.30	31.44
8	マメ	エゾノレンリソウ	○		0.12				0.12
9	セリ	ドクゼリ	○		0.25				0.25
10	ツツジ	ヒメシャクナゲ		●	0.01				0.01
11		ヤチツツジ		●		0.25			0.25
12		カラフトイソツツジ		●		0.37		0.01	0.38
13	サクラソウ	クサレダマ	○		0.29				0.29
14	シソ	シロネ	○		0.18				0.18
15	スイカズラ	クロミノウグイスカグラ		●			0.04		0.04
16	キキョウ	サワギキョウ	○		0.02		0.02		0.04
17	キク	オオヨモギ	○				0.03		0.03
18		アキノキリンソウ	○		0.03				0.03
		キク科 sp	○				0.01		
19	ホロムイソウ	ホロムイソウ	○				0.25		0.25
20	アヤメ	アヤメ科 sp	○				0.01		0.01
21	イネ	イワノガリヤス	○		0.25		2.51		2.76
22		チシマガリヤス	○		0.03				0.03
23		ヌマドジョウツナギ	○				0.02	1.50	1.52
24		クサヨシ	○				13.14	5.75	18.89
25		ヨシ	○		21.58		0.34	1.05	22.97
		イネ科 sp	○					0.50	0.50
26	カヤツリグサ	ムジナスゲ	○				1.01		1.01
27		ホロムイスゲ	○		0.09				0.09
28		ツルスゲ	○		0.01		11.20	2.01	13.22
29		オニナルコスゲ	○					0.25	0.25
		カヤツリグサ科 sp	○				0.05		0.05
		種不明木本		●	0.18				0.18
		種不明草本	○		0.02	1.25			1.27
		木本合計			8.98	2.66	20.74	0.60	32.98
		草本合計			57.64	1.25	29.82	13.10	101.81
		合計			66.62	3.91	50.56	13.70	134.79
合計種数					15種	4種	16種	9種	
					18種		19種		
					16科29種				

●冬期の食痕出現頻度(食痕確認面積/100m)

No	科名	種名	細岡地区		塘路地区		宮島・キラコタン地区		赤沼地区			大島川地区			計	
			高層湿原	丘陵地	低層湿原	丘陵地	高層湿原	丘陵地	高層湿原	低層湿原	ハンノキ林	高層湿原	丘陵地	ハンノキ林		
1	ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ	0.3												0.3	
2	マツ	カラマツ				0.2									0.2	
3	ヤマモモ	ヤチヤナギ	3.3				0.9			0.3					4.5	
4	クミ	オニグルミ		0.3											0.3	
5	ヤナギ	ハッコヤナギ				0.2									0.2	
6		オノエヤナギ											0.3			0.3
7	カバノキ	シラカンバ		1.2				0.6							1.8	
8		ハンノキ			1.8						0.5			0.6	2.9	
9	ニレ	ハルニレ		0.6		0.4		1.0					0.8		2.8	
10		オヒョウ		0.3											0.3	
11	クワ	ヤマグワ		0.3											0.3	
12	カツラ	カツラ		0.3											0.3	
13	オトギリソウ	オトギリソウ	0.3												0.3	
14	ハラ	エゾノコリゴ											0.3		0.3	
15		エゾノウミズサクラ			0.3										0.3	
16		クマイチゴ				0.7									0.7	
17		エゾイチゴ				0.2								0.3	0.5	
18		アズキナシ			0.3										0.3	
19		ホザキシモツケ			0.3										0.3	0.6
		ハラ科							0.3							0.3
20	マメ	イヌエンジュ						0.3							0.3	
21	カエデ	イタヤカエデ		0.3		0.2							0.3		0.8	
22	シナノキ	シナノキ						0.3					0.3		0.6	
23	ミズキ	ミズキ		0.3											0.3	
24	ウコギ	タラノキ											0.5		0.5	
25	ツツジ	ヤチツツジ	0.8				0.6								1.4	
26		カラフトツツジ						0.6				0.8			1.4	
27	モクセイ	ヤチダモ		0.6		0.4									1.0	
28		ハシドイ		1.8		0.7							0.8		3.3	
29	スイカスラ	クロミノウゲイスカスラ	0.3												0.3	
	イネ	イネ科				1.1		1.0		0.3					2.4	
30		オオクマザサ		1.2		0.9		1.0					1.5		4.6	
31	カヤツリグサ	スゲ sp.	2.2					0.3				1.6		0.3	4.4	
	-	種不明草本	0.3			0.2									0.5	
	-	キノコ類									0.2			0.3	0.5	
		木本	4.4	6.0	2.7	3.1	2.0	2.6		0.3	0.5	0.8	3.3	0.8	26.5	
		草本他	3.1	1.1		2.2		2.3		0.3	0.2	1.6	1.5	0.6	12.8	
計	21 科	31 種	7.4	7.0	2.7	5.4	2.0	4.9	0	0.6	0.7	2.4	4.8	1.4	39.3	

重要種 ※計算上端数があるため合計は合わない

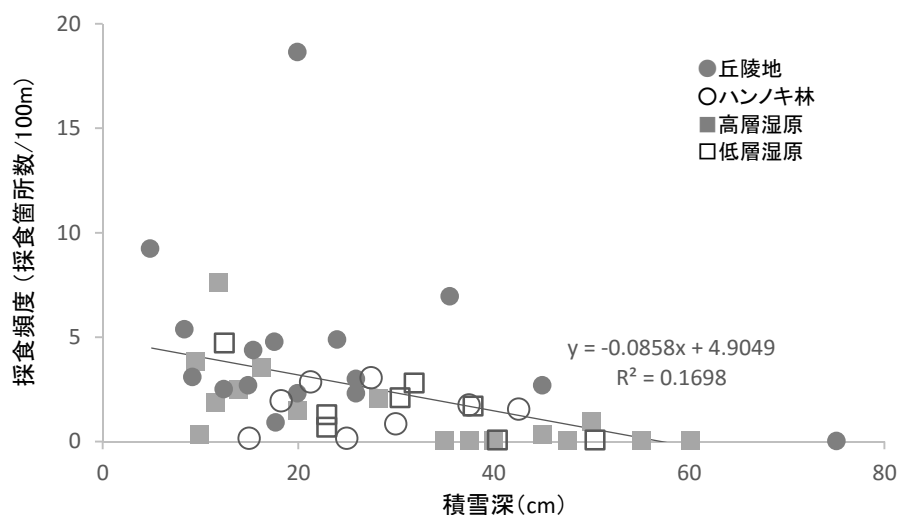
●冬期の食痕出現頻度と積雪深の経年変化

調査地区	植生	採食頻度 (採食箇所数/100m)				積雪深(cm)			
		H23	H24	H25	H26	H23	H24	H25	H26
細岡地区	高層湿原	0.9	1.4	3.4	7.4	50.0	20.0	16.4	12.0
	丘陵地	18.8	2.3	3.0	7.0	20.0	26.0	26.0	35.5
塘路地区	低層湿原	2.0	1.6	4.6	2.7	30.0	37.5	12.0	31.4
	丘陵地	9.3	4.4	2.7	5.4	5.0	15.5	15.0	8.5
宮島・キラコタン地区	高層湿原	0	0.3	3.7	2.0	55.0	45.0	9.6	28.3
	丘陵地	2.5	2.3	3.1	4.9	12.5	20.0	9.3	24.1
赤沼地区	高層湿原	0	0	0.3	0.0	37.5	47.5	10.0	35.0
	低層湿原	0	0	1.2	0.6	40.0	50.0	22.5	22.5
	ハンノキ林	0	2.9	1.8	0.7	15.0	27.5	18.3	30.0
大島川地区	高層湿原	0	0	1.8	2.4	60.0	40.0	11.7	14.0
	ハンノキ林	0	1.6	2.7	1.4	25.0	37.5	21.3	42.6
	丘陵地	0	2.7	0.9	4.8	75.0	45.0	17.8	17.7
平均		2.8	1.6	2.4	3.2	35.4	34.3	15.8	25.1

■ : H26 の値が過去最大の調査区

■ : H26 の値が過去最小の調査区

●冬期の食痕出現頻度と積雪深の相関



調査地区分	回帰式 y:採食頻度、x:積雪深	相関係数 r	相関係数の有意性		標本数 n
			(P<0.01)	(P<0.05)	
丘陵地	y=-0.0722x + 6.3134	-0.280	なし	なし	16
ハンノキ林	y=0.0153x + 0.9718	-0.130	なし	なし	8
高層湿原	y=-0.0742x + 3.7563	-0.647	なし	あり	16
低層湿原	y=-0.0907x + 4.3761	-0.700	なし	なし	8
調査地全体	y=-0.0858x + 4.9049	-0.412	あり	あり	48

●まとめ

□夏期及び秋期の採食状況

- ・両期とも高層湿原でやや採食頻度が低いように見えるが、明瞭な傾向なし。
(昨年度は秋に採食が多かった)
- ・夏期に草本重要種の採食が目立った。

□冬期の採食状況

- ・昨年度（6科8種）と比較して採食された種数は多かった。
- ・採食頻度は過去最多となった。
- ・積雪深の平均値は過去4年では中間的な値だったが、場所による違いが大きかった。
- ・積雪深と採食頻度には逆相関が見られた。